

# 待 春

山本正夫作曲

*mf*  $\text{♩} = 112$

1. ミヤマノユキハキエネドモ  
 2. いげのこほりはとけねども

ノキバノウメハホホエミヌ  
 きしべのあしはつのみぬ

ナレチバマテルハソレノミカ  
 いましなまてるはひとのみか

*mf*

トクトクイソーゲハルヨハルヨ  
 とくとくいそーげはるよはるよ

## 待 春

犬童球溪作歌

- 一、深山の雪は消えねども、  
軒ばの梅はほほるみぬ、  
汝れを待てるは我のみか、  
とくく急げ春よ。
- 二、池の氷は解けねども、  
岸邊の芦は角ぐみぬ、  
汝しを待つは人のみか、  
とくく急げ春よ。

# 河 水 清

山本正夫作曲

ANDANTINO

1. イハマノシヅクアツマリテタマト  
 2. なにまのをがわあつめきてかがみと

ナガルルサトガワノソコノマサゴモ  
 よどむやまがわのそこのこあゆも

カヅフベクヌルモキヨシミズノオモ  
 かぞふべくすめるもきよしみづのおも

## 河 水 清

(御題に因みて)

犬童球溪作歌

- 一、岩間の雪集りて、  
玉と流るる里川の、  
底の真砂も数ふべく、  
澄めるも清し水の面。
- 二、谷間の小川集め来て、  
鏡と静む山川の、  
底の小鮎も数ふべく、  
澄めるも清し水の面。